

令和元年 9 月

「蛋白分画（P R－F）」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、このたび標記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、ご案内申し上げます。
誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

（ 記 ）

- 検査項目 [800]蛋白分画(P R－F)
- 変更期日 令和2年1月4日(土) 受付分より
- 変更内容

変更箇所	新	旧	備考
項目コード	2973	800	※1
検体量・保存	血清 0.3mL ・冷蔵	血清 0.2mL ・ 冷蔵	
検査方法	キャピラリー電気泳動法	電気泳動法	※2
分画成分・基準値	6分画 ・ ALB 55.8～66.1 % ・ α 1 2.9～4.9 % ・ α 2 7.1～11.8 % ・ β 1 4.7～7.2 % ・ β 2 3.2～6.5 % ・ γ 11.1～18.8 % ・ A/G 1.30～1.90	5分画 ・ ALB 58.1～70.1 % ・ α 1 1.8～3.2 % ・ α 2 6.9～11.3 % ・ β 6.4～10.2 % ・ γ 11.6～21.4 % ・ A/G 1.37～2.30	
所要日数	1 日	2 日	

※1. 総合検査依頼書の依頼チェック欄につきましては、令和2年1月4日より新法としてご使用いただけます。
※2. 測定機器の変更

- 新法の概要
キャピラリー電気泳動法は、従来法と比べて分離能が高く、β 分画が β 1・β 2の2つに分離され6分画となります。また、感度も高く、各分画(α 2～γ)の微量なM蛋白も検出が可能となります。特にM蛋白は、β 2グロブリン領域にピークの出現が多く、2つに分離できることよりM蛋白血症(多発性骨髄腫等)の早期発見が高まります。

- 参考文献
伊藤喜久：Med. Technol. 39(3), 278～284, 2011.

以上
No. 19-24